

新潟中央高等学校で「生徒指導研修資料 Vol. 1」を活用した校内研修を実施しました。

5月17日（水）午後、新潟中央高等学校が教職員75名の参加のもと、「生徒指導研修資料 Vol. 1」を活用した研修会を実施しました。

同校の教員2名（村木教諭、小野教諭）が研修会を企画立案し、研修会では、村木教諭による研修目的の説明、小野教諭のファシリテーションによるアイスブレイク、グループワークが実施されました。

グループワークでは、「生徒指導研修資料 Vol. 1」の「ケーススタディ 1「死にたい」と訴える生徒への対応」を取り上げました。

参加者は、積極的にグループワークに取り組み、対応方法等について真剣に話し合いを進めていました。

県教育委員会では、各校がこうした研修会に取り組み、いじめなどについて教職員全体の共通認識を図り、情報共有を徹底し、チーム学校として生徒指導に取り組んでほしいと考えています。また、学校だけでは解決できない問題がありますので、適切に外部と連携して問題解決を目指してほしいとも考えます。

今回の新潟中央高校の取組を参考に各校においては、校内研修に確実に取り組むようお願いします。

（参加した教職員の声）

- ・日ごろ思っていたことを話すことができてよかった。他の先生方の意見や疑問を聞くことで自分の指導について振り返るきっかけとなった。
- ・生徒からいろいろな相談を受ける機会があるが、情報共有を進め、チーム学校として生徒指導を進めていければと考えます。
- ・こうした研修機会を持つことは大事だと思う。
- ・丁寧に生徒の話聞き、情報を自分で抱え込まず、学年の先生方などと情報共有し、対応したい。

（研修会の様子）

